

障害者雇用の拡大及び特別支援学校卒業者の雇用確保について（お願い）

兵庫県及び兵庫労働局の行政運営につきましては平素から格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、本県民間企業における雇用障害者数におきましては、3年連続で過去最高を更新いたしました。一方、法定雇用率を達成している企業の割合については前年より低下し、未だ過半数の企業で未達成の状況が続いていることから、なお一層の雇用促進に取り組むことが求められています。

こうした情勢を踏まえ、兵庫県及び兵庫労働局においては、一人でも多くの障害のある方が就職できるよう、障害者雇用における阻害要因を踏まえながら労働、福祉、医療、教育等の関係機関との連携により、個別指導を強力に実施し、就業と職場定着の支援等に取り組むこととしています。

1 民間企業における法定雇用率の達成について（兵庫県、労働局）

障害者の実雇用率については、令和7年6月現在で2.45%となっており、前年より0.02ポイント低下しました。本年7月には法定雇用率が2.7%に引き上げられていることから、より一層計画的かつ積極的に障害者雇用に取り組んでいただくようお願いいたします。

2 法定雇用率未達成企業について（兵庫県、労働局）

民間企業における法定雇用率の達成割合は47.4%であり、全国平均を上回っているものの、前年よりも低下し、過半数の企業が依然として未達成である状況です。国・県の支援などを積極的に活用いただき、障害者雇用や雇用継続への第一歩を踏み出していただくようお願いいたします。

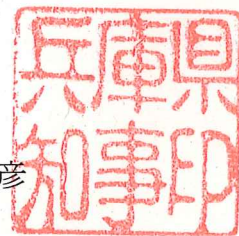
3 特別支援学校卒業者の雇用確保について（兵庫県教育委員会）

令和7年3月に特別支援学校高等部を卒業した者941人のうち、就職した者は202人、就職率は21.5%であり、前年度より2.1%低下し、令和7年度学校基本調査による全国平均29.8%より低位にあります。卒業後の進路につながるよう現場体験実習の受入協力や卒業者が安心して働ける場の提供をお願いいたします。

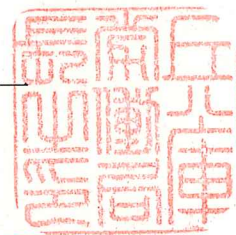
令和8年9月9日

一般社団法人兵庫県経営者協会
会長 成松 郁廣 様

兵庫県知事 齋藤 元彦



兵庫労働局長 金成 真



兵庫県教育長 木村 晶子

